

(第1回)契約変更の内容

契約変更年月日	令和8年2月19日
契約業者名	中央復建コンサルタンツ株式会社 九州支社
契約業者の住所	福岡県福岡市博多区祇園町4番61号
業務の名称	令和7年度北九州港港湾施設基本設計
業務場所	—
業種区分	建設コンサルタント等
業務概要(変更した内容について記述する)	下記「変更理由」のとおり
履行期間(自)	令和7年6月26日
履行期間(至)	令和8年3月19日
変更前の契約金額	37,103,000 円(税込み)
変更金額	2,728,000 円(税込み)
変更後の契約金額	39,831,000 円(税込み)
変更理由	<p>1. 別件業務の土質調査にて、土質性状把握のため調査地点が1地点追加となり、土質資料整理解析のボーリング本数を変更した。</p> <p>2. 北九州市地域防災計画(R7.2)にて、レベル2地震動として新たに南海トラフ巨大地震が追加されたことから、レベル2地震動の再検討を行う必要が生じた。</p> <p>3. 設計条件を検討した結果、岸壁部の比較構造形式は2構造形式、岸壁部の設計工区数は1工区数が適切と判断し、また、当初想定していた取付部の実施は岸壁部の設計の進捗状況により対象外となり、検討ケース数及び図面作成枚数を変更する必要が生じた。</p> <p>4. 構造形式の選定において抽出された重力式の概算工費算定にあたり、ケーソンの各部材構成及び付帯施設の規格形状等の詳細な数量を把握するため、細部設計を追加した。</p> <p>5. 各構造形式の経済性及び施工性等の検討を踏まえた総合的な比較を行う中で、重力式におけるケーソン製作ヤード確保が重要な比較要素となることから、現在候補として挙げている2箇所について、製作時の護岸堤体の安定計算、改良を要する場合の工法検討及び進水・曳航を想定したケーソン浮遊時の安定計算を追加し、使用可否の検討を行う必要が生じた。</p>